

米国 IDC 社の「MarketScape: Worldwide Laser Production Printers 2026 Vendor Assessment」評価でキヤノンが「リーダー」を獲得

キヤノンは、米国のIT専門調査会社であるIDC社がレーザープロダクションプリンターベンダーの企業評価を行った最新の報告書「IDC MarketScape: Worldwide Laser Production Printers 2026 Vendor Assessment[※]」において、「リーダー」の評価を獲得しました。



imagePRESS V1350

本調査は、世界のレーザープロダクションプリンターベンダー11社を対象に、製品ポートフォリオ、提供能力、および戦略を総合的に評価するものです。本報告書では、「高い生産性、安定した高画質、優れた用紙搬送性能と機械的信頼性、そして長期にわたる安定稼働を求める顧客にとって、キヤノンは有力な選択肢である」と記載されています。さらに、「キヤノンは、スペック上の数値よりも、実運用における安定した品質と再現性の高い生産を重視しており、その結果、『imagePRESS』シリーズおよび『varioPRINT』シリーズは商業印刷や企業内印刷において特に強みを発揮している」と評されています。

キヤノンは、商業印刷分野において、長年培ってきた電子写真技術、光学技術、トナー材料技術、制御技術を基盤に、ハードウェアからソフトウェア、サービスに至るまで総合的なソリューションを開発・提供しています。さらに、キヤノンプロダクションプリンティングとの連携により、トナー方式からインクジェット方式まで幅広い製品ラインアップをそろえ、ダイレクトメールや書籍・冊子などの商業印刷に加え、提案書や店頭POPなどの企業内印刷にも対応し、多様化する印刷ニーズに応えています。

その中でも、商業印刷分野の中核を担う「imagePRESS」シリーズは、センシング技術を活用した色調整・画像位置合わせの自動化、ワークフローとの連携による生産工程の効率化、幅広い用紙への対応を特長としています。高速印刷時でも安定した色再現と見当精度を備えるとともに、オペレーター作業の負荷軽減を図ることで、高画質と高生産性、安定稼働を実現しています。これにより、品質と生産性の両立や、人手不足や短納期化など、印刷事業者の課題解決に寄与しています。

キヤノンは今後も、商業印刷市場の変化に対応しながら、製品およびソリューションの提供を通じて印刷事業者のビジネス拡大に貢献していきます。

〈IDC MarketScape について〉

IDC MarketScape ベンダー評価モデルは、特定の市場におけるITサプライヤー、サービスプロバイダーの競争力の概要を提供するように設計されています。この調査では、定性的および定量的な基準に基づく厳密な採点方法を用いて、特定の市場内における各企業のポジションを単一のグラフィカルな図で表現します。IDC MarketScape は、ITベンダーの製品・サービス、能力、戦略、現在および将来における市場での成功要因を有意義に比較できる明確なフレームワークを提供します。また、このフレームワークを利用することで、ITバイヤーは、対象ベンダーの現在および将来に渡る強みと弱みを360度で評価できるようになります。

※ IDC MarketScape: Worldwide Laser Production Printers 2026 Vendor Assessment (doc #EUR154121926, May 2026)